

速報

第8回ビル経営サミットin九州

100名を超える業界関係者が来場

熱心に関心する参加者達



3月3日、13時より、福岡市天神ビル11階会議室にて「第8回ビル経営サミットin九州」が開催された。当日は100人を超える参加者が詰め掛け、会場は熱気に包まれた。特別講演、特別セミナー、そしてパネルディスカッションの順で進行。商業ビル経営の成功ノウハウ、ノンリコースローンの活用、そして、福岡市場活性化に向けた明るい話題に、来場者達は熱心に耳を傾けた。そしてサミット後の懇親会では講師と来場者が食事を楽しみながら情報交換を行った。会場にお越しいただけなかった読者の方々にイベント内容をお伝えする。

特別講演

商業店舗経営のプロが明かす繁盛ビルの作り方



ジャスマック プロパティ マネジメント代表取締役 葛和満博氏

飲食・ホテルなど人間主役型サービス産業に絞った不動産の開発及びプロパティマネジメントに取り組んでいます。なぜ、飲食店舗ビルに事業を特化したのかといえば、繁華街一等地・立地にあった業態、生業規模、そしてプロによる店舗作り、という成功条件が揃っています。なぜ、飲食店舗ビルに事業を特化したのかといえば、繁華街一等地・立地にあった業態、生業規模、そしてプロによる店舗作り、という成功条件が揃っています。

安定した高収益ビジネスは飲食店舗ビル事業

守れば、安定した高収益ビジネスはないと考えているからです。まず飲食業といふビジネスを成立させているのは、店の雰囲気や店主、従業員のサービスが付いた「人生の主役」を願望を果たせたいという成功条件が揃っています。なぜ、飲食店舗ビルに事業を特化したのかといえば、繁華街一等地・立地にあった業態、生業規模、そしてプロによる店舗作り、という成功条件が揃っています。

空室を金庫室に転用して成功した例も

三好不動産代表取締役社長 三好修氏



福岡市内にて不動産の売買・賃貸及びその仲介業、不動産有効利用、コンサルタンツ及び経営企画などを手掛けています。今、福岡市には九州全域からの人口流入が進んでいて、市内で、立地が悪すぎない限り、居住用物件は好調を維持しているといえます。特に学生や一人暮らし向けのワンルームマンションは需要が高く、比較的、築年数が浅い物件、また経年しても定期的なリフォームがなされている物件であれば、

福岡市内にて不動産の売買・賃貸及びその仲介業、不動産有効利用、コンサルタンツ及び経営企画などを手掛けています。今、福岡市には九州全域からの人口流入が進んでいて、市内で、立地が悪すぎない限り、居住用物件は好調を維持しているといえます。特に学生や一人暮らし向けのワンルームマンションは需要が高く、比較的、築年数が浅い物件、また経年しても定期的なリフォームがなされている物件であれば、

収益性高い不動産に買い替えの契機

パネリスト



第一不動産代表取締役社長 西村和芳氏

当社は北九州最近、東京でも不動産仲介市小倉にて不動産を行ったのですが、動く額産の仲介業を手は当然、九州地方とは異なる掛かっています。特に立地が良ければ、今なら高利回り物件を取戻すことも可能でしょう。ただ、マクロ的な視点から見ると、地方は下落幅が拡大しています。特に、居住用不動産は、余剰時代に、この1、2年間はさらに下落が続きます。需給関係で言えば、少子化による人口減少社会を維持する必要があることになり、都心一帯が下りたまま、広大な土地は不要になり、また、建築資材、輸送費の高騰により、高利回り物件の収益性は低下しています。収益性の高い不動産へ買い替えの契機もあると考えます。持たざる経営から持てる経営へ転換する必要があります。都心一帯が下りたまま、広大な土地は不要になり、また、建築資材、輸送費の高騰により、高利回り物件の収益性は低下しています。

来場者の声

第3部のディスカッションが参考



西日本ビル専務取締役 勝野滋信氏

毎回参加させていただいていますが、ビル経営サミットは、実際のビル経営に携わる経営者の方の本音の部分が出てくるため、非常に勉強になります。今回のサミットでも第3部のパネルディスカッションにて地元不動産会社の三好氏や西村氏、大阪と福岡にビルを所有している山根氏による

